



Endeavor TN30E

スタートアップガイド Windows 8.1


1 梱包品を確認する  p.2


2 各部の名称  p.5


3 コンピューターを準備する  p.7


4 Windowsをセットアップする  p.12


5 タッチパネルを操作する  p.16


6 Windows 8.1 の基本操作  p.21


7 セットアップ後の作業  p.32

8 PCお役立ちナビを使う  p.36


9 ユーザーサポートページ  p.38

10 安全にお使いいただくために  p.39

11 機能仕様一覧  p.44

情報マップ 知りたい情報はどこにある?  裏表紙

1 梱包品を確認する

はじめに梱包品がそろっているか確認します。万一、梱包品の不足、仕様違いがありましたら、商品お届け後 8 日以内に受付窓口までご連絡ください。詳しくは、『サポート・サービスのご案内』をご覧ください。



参考

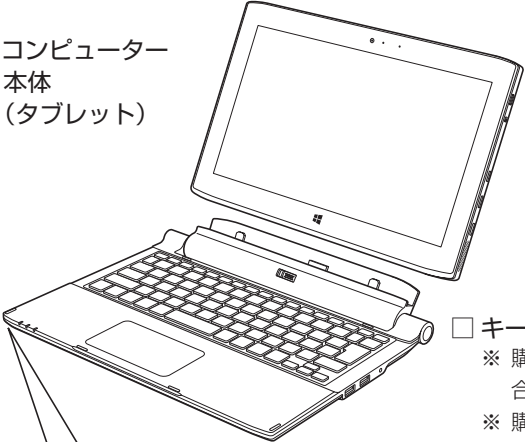
保証書について

当社では、ご購入日や保証サービスなどのお客様情報をデータベースで登録・管理しています。このため、保証書は添付されていません。

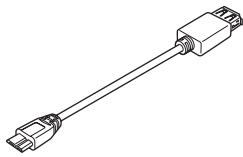
1 ハードウェアを確認する

ハードウェアがそろっているか、確認してください。

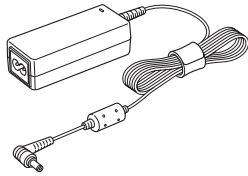
コンピューター
本体
(タブレット)



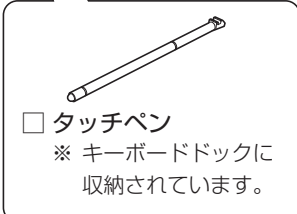
Micro USB 変換
ケーブル



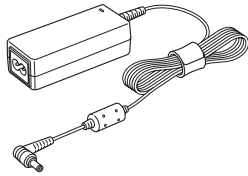
キーボードドック
※ 購入時の選択により、添付されていない場合があります。
※ 購入時に選択された場合は、本機に装着されています。



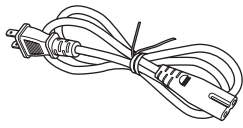
タッチペン
※ キーボードドックに
収納されています。



AC アダプター
(ADP-40KD)



電源コード



※ このほかにもオプション製品が添付されている場合があります。
オプション製品は納品書でご確認ください。

2

マニュアルを確認する

マニュアル類がそろっているか、確認してください。

冊子マニュアル

- スタートアップガイド（本書）
- サポート・サービスのご案内

電子マニュアル（本機内にデータで収録されています p.37）

- ユーザーズマニュアル（PDF）

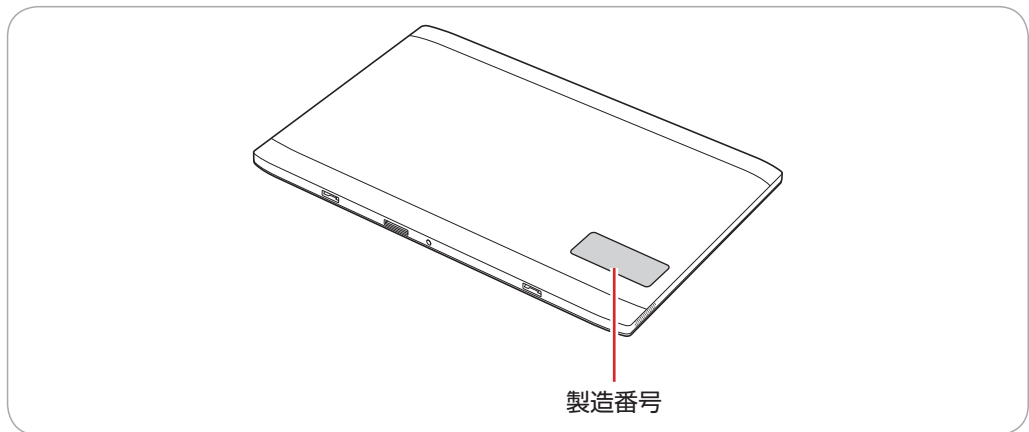
※ このほかにも冊子や電子でマニュアルが添付されている場合があります。

3

製造番号を確認する

本機の製造番号を確認してください。製造番号はタブレット背面のシールに記載されています。製造番号はお問い合わせの際に必要です。

 別冊 『サポート・サービスのご案内』の表紙に書き写しておいてください。



次の場所でも製造番号を確認できます。



【PC お役立ちナビ】 - 画面下 【製品情報】

Windows 8.1 のプロダクトキーについて

Windows 8.1 のプロダクトキーは本機に組み込まれており、インターネットに接続すると、自動的にライセンス認証が行われます。

※ ラベルでプロダクトキーは添付されていません。

4

PCリサイクルマークシールを貼る

本機の梱包箱に、「PC リサイクルマークシール在中」と書かれたシートが付いている場合は、シートの「PC リサイクルマークシール」を本機底面の通風孔を避けた場所に貼ってください。PC リサイクルマークシールは、コンピューターの廃棄時に必要です。PC リサイクルマークシール付きの当社製コンピューターは、当社が無償で回収・再資源化を行います。

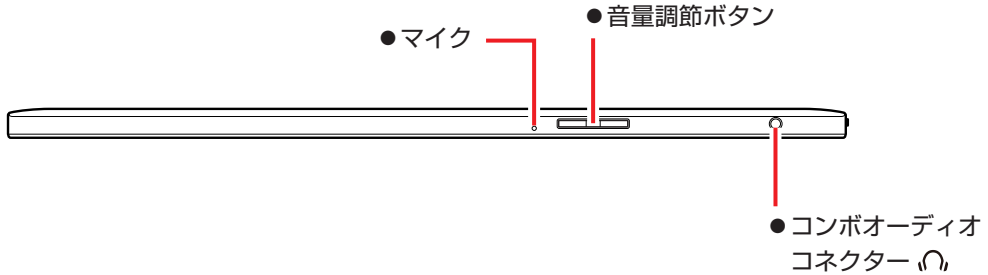


< PC リサイクルマークシール >

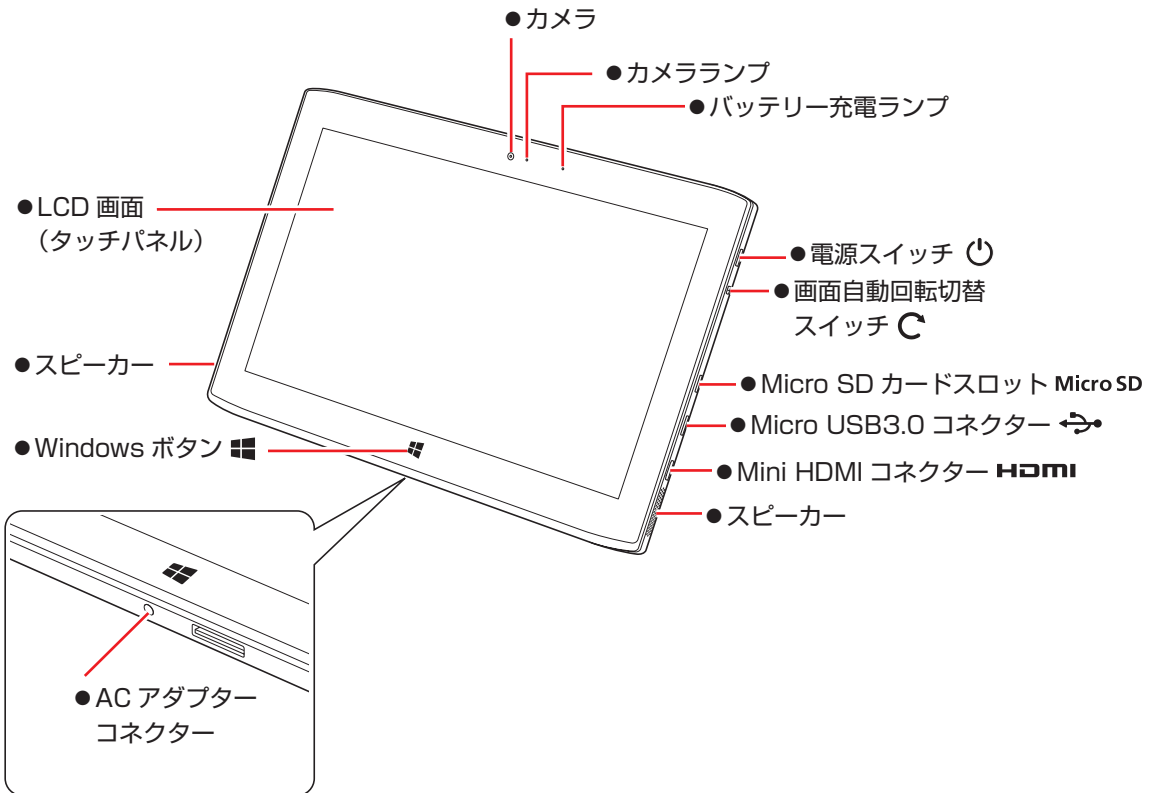
2 各部の名称

本機の各部の名称を記載します。

タブレット上面

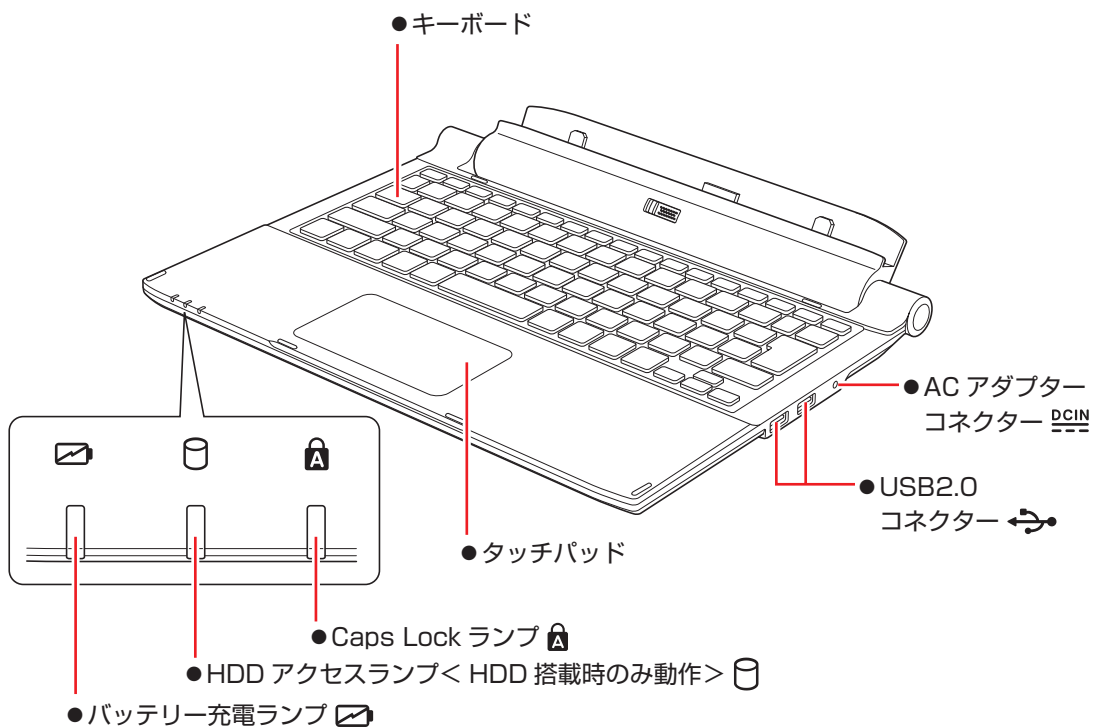


タブレット正面・右側面・下面



キーボードドック

※ キーボードドックは、購入時の選択により、添付されていない場合があります。



3 コンピューターを準備する

本機を使用できる状態にする手順を説明します。

設置における注意



- 不安定な場所（ぐらついた台の上や傾いた所など）に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがををする危険があります。
- ひざの上で長時間使用しないでください。本機底面が熱を持つため、低温火傷の原因となります。

各種コード装着時の注意



- 本機には、必ず同梱された電源コード/ACアダプターを使用してください。また、本機の電源コード/ACアダプターは、他の製品に使用しないでください。感電・火傷・火災の原因となります。
- 電源コードのたこ足配線はしないでください。発熱し、火災の原因となります。家庭用電源コンセント（交流 100V）に接続してください。
- 電源プラグを取り扱う際は、次の点を守ってください。取り扱いを誤ると、火災の原因となります。
 - ・電源プラグは、ホコリなどの異物が付着したまま差し込まない。
 - ・電源プラグは刃の根元まで確実に差し込む。
 - ・電源プラグを長期間コンセントに差したままにしない。
 - ・コンセントから抜くときは、電源コードを引っ張らず、電源プラグを持つ。電源プラグは、定期的にコンセントから抜いて、刃の根元や刃と刃の間を清掃してください。



- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 各種コード（ケーブル）は、マニュアルで指示されている以外の配線をしないでください。配線を誤ると、火災の原因となります。

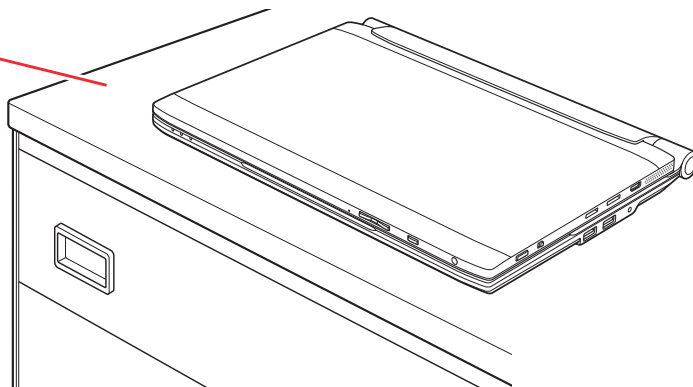
設置する

キーボードドック添付時のみ

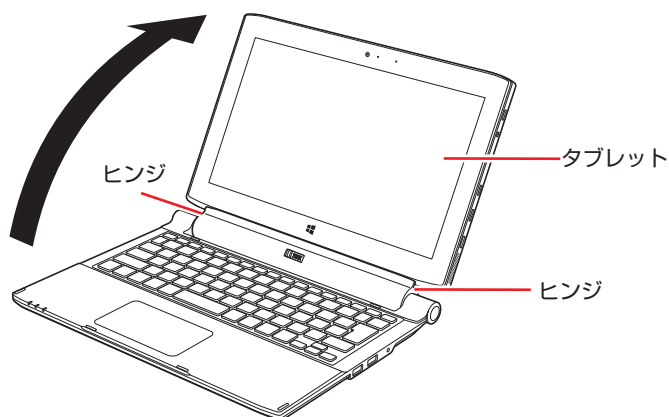
キーボードドックを接続して使用する場合は、次の手順で設置・充電します。

- 1** 本機を設置する場所を確保します。

机などの丈夫で
水平な台の上



2 タブレット部を開きます。



制限

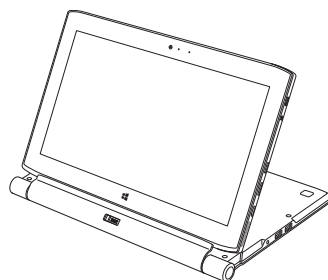
タブレットの開閉可能な最大角度は、およそ 295 度です。
最大角度を超えてタブレットを開かないでください。ヒンジ部分が破損します。



参考

キーボード面を下向きにして使う

本機は、キーボード面を下向きにして使用することもできます。



タブレットを 270 度以上開くと、誤作動防止のため、キーロックがかかります。文字入力はソフトウェアキーボードで行ってください。

 p.18 「ソフトウェアキーボードを使う」

充電する

出荷時、バッテリーは満充電状態ではありません。使用前に充電をおすすめします。AC アダプターを本機に接続すると充電されます。



「PC お役立ちナビ」 - 「マニュアルビューワ」 - 「機種名」 - 『ユーザーズマニュアル』 - 「バッテリーの充電」



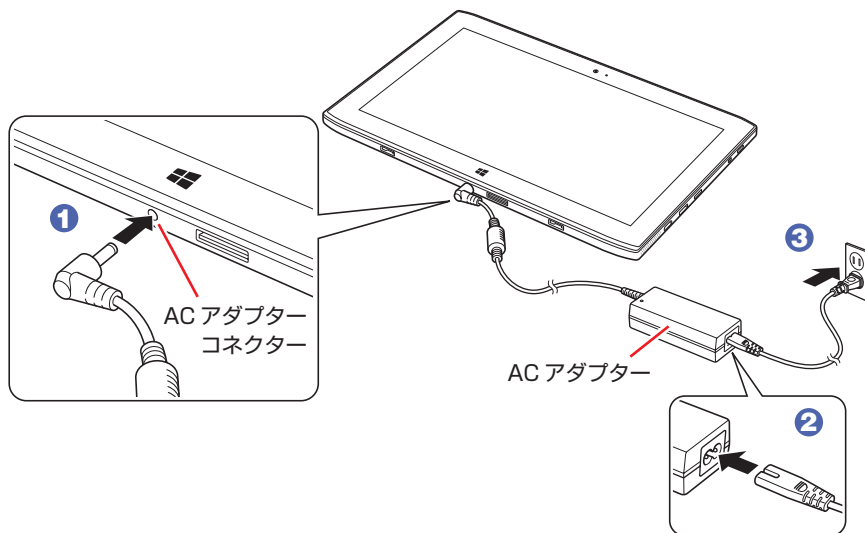
制限

バッテリーの充電は、必ず動作環境 (10 ~ 35 °C) で行ってください。動作環境 (10 ~ 35 °C) 以外では、正常に充電されません。

- 1** 本機に同梱の電源コード / AC アダプターを接続します。
コンピューターの近くで、抜き差ししやすい場所にあるコンセントを使用してください。

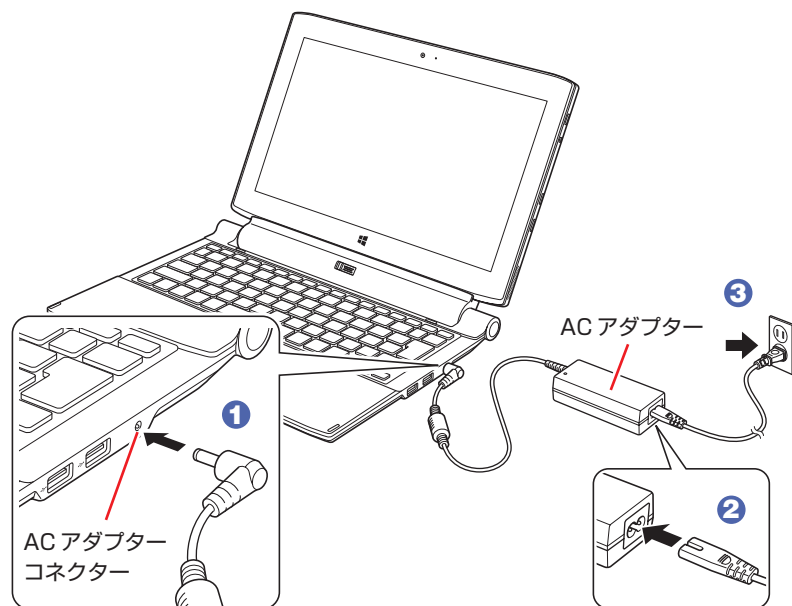
タブレットのみの場合

タブレット下面の AC アダプターコネクタに接続します。



キーボードドックを接続している場合

キーボードドックが接続されている場合は、キーボードドック右側面の AC アダプターコネクタに接続します。





バッテリーについて

バッテリーは本機（タブレット部）とキーボードドックのそれぞれに搭載されています。タブレットに搭載のバッテリーから充電され、その後キーボードドックに搭載のバッテリーに充電されます。また、バッテリーのみで使用する場合は、キーボードドック、タブレットの順でバッテリーが使用されます。

続いて、Windows のセットアップを行います。

 p.12 「Windows をセットアップする」

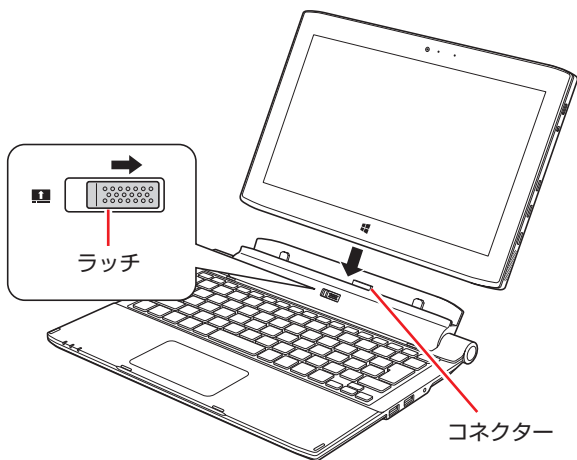
キーボードドックの取り付け・取り外し

キーボードドック添付時のみ

キーボードドックの取り付け・取り外し手順は、次のとおりです。
作業は、本機を安定した場所に置いて行ってください。

取り付け

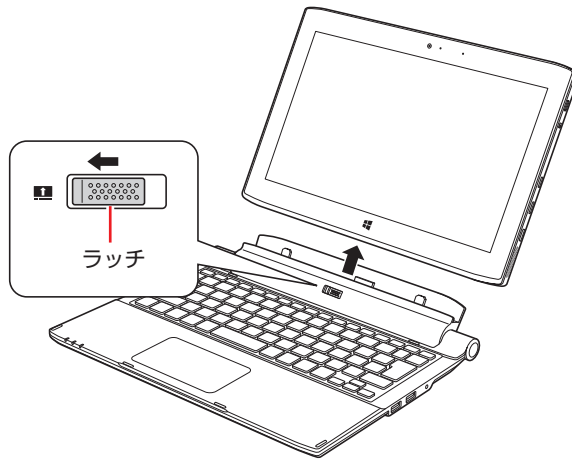
タブレット下部の穴をキーボードドックのコネクターに合わせて、タブレットを取り付けます。「カチッ」と音がしてラッチが右に移動するまで、しっかり押し込みます。



ラッチが右側に移動し、ロックがかかっていることを確認してください。

取り外し

ラッチを左側に移動したまま、タブレットを引き抜きます。



制限

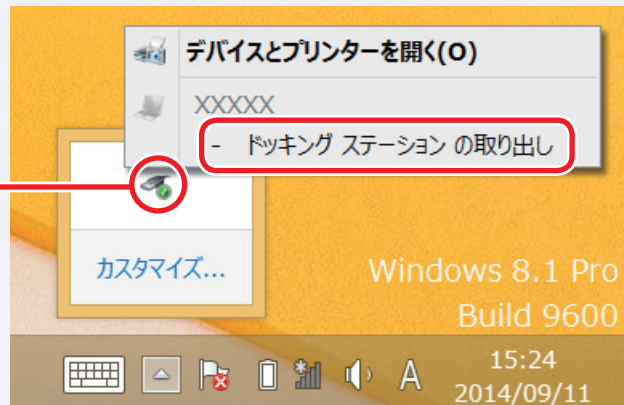
キーボードドックは USB 接続です。

本機の電源が入っている状態でキーボードドックを取り外す場合は、USB 機器の終了処理を行ってから取り外してください。

デスクトップ通知領域の [△] - 「取り外し」アイコン - 「ドッキングステーションの取り出し」をタップします。

※複数の機器が表示される場合は、別の機器を選択しないよう注意してください。

取り外しアイコン



「ハードウェアの取り外し」メッセージが表示されたら、タブレットを取り外せます。

4 Windows をセットアップする

本機の電源を入れて、Windows を使用できる状態にするまでの手順を説明します。
ここではタブレット(本機)のイラストで説明します。キーボードドック接続時も手順は同じです。

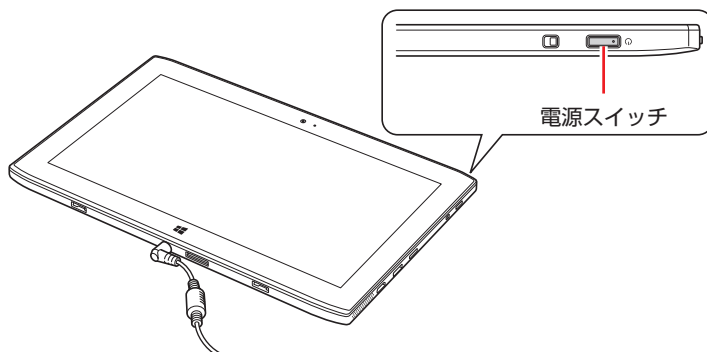
！ 制限

本機は購入時、電源を入れると自動的に無線機能（無線 LAN、Bluetooth）がオンになり、電波が発生します。

航空機や病院など、電波の使用を禁止された区域に本機を持ち込むときは、本機の電源を入れないでください。

無線機能に関する注意事項の詳細は  p.39 「安全にお使いいただくために」をご覧ください。

1 電源スイッチ（）を押して、本機の電源を入れます。



参考

電源が入らないときは

AC アダプターが正しく接続されているか確認してください。

2 Windows のセットアップを行います。

画面の指示に従って、セットアップを行ってください。

セットアップの流れは、次のとおりです。

※ タブレットでの文字入力はソフトウェアキーボード（p.18）で行います。

地域と言語

画面に表示された内容を確認し、[次へ] をタップします。



ライセンス条項

画面に表示された内容を確認し、[同意します] をタップします。



パーソナル設定

色を選択、PC 名を入力し、[次へ] をタップします。

※ PC 名は半角英数字を入力してください。



オンラインに接続

ネットワークの一覧が表示された場合は、接続するネットワークを選択して、[次へ] をタップします。

※ 無線 LAN 接続を行わない場合は、「この手順をスキップする」をタップしてください。



設定

[簡単設定を使う] をタップします。



インターネットに接続している場合

すでにお持ちのMicrosoft アカウント(p.14)を使用する場合は、メールアドレスとパスワードを入力して、[次へ] をタップします。Microsoft アカウントを新しく作成する場合は、「新しいアカウントを作る」をタップし、画面の指示に従って作成してください。
※ 設定したパスワードは、絶対に忘れないようにしてください。



インターネットに接続していない場合

ローカルアカウント(p.14)を作成します。「お使いのアカウント」と表示されたら、ユーザー名とパスワード(任意)を入力し、[完了] をタップします。
※ ユーザー名、パスワードは半角英数字を入力してください。
※ 設定したパスワードは、絶対に忘れないようにしてください。
セットアップ後にインターネットに接続し、ローカルアカウントをMicrosoft アカウントに切り替えることもできます。


スタート画面が表示されます。



<イメージ>

これでコンピューターを使用できます。

続いて、セットアップ後の作業を行います。

 p.32 「セットアップ後の作業」



制限

使用状況により、本体が熱くなることがあります。高温部には長時間触れないでください。

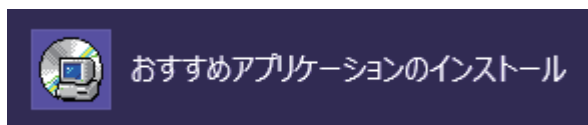
おすすめアプリのインストール

次のアプリは、購入時、本機にインストールされていません。

- ウイルスバスター クラウド 90 日版
- i-フィルター 30 日版
- Endeavor 電源プラン設定ツール
- ネットワーク切替えツール

必要に応じて次の場所からインストールしてください。

アプリ一覧 (p.26) の「おすすめアプリケーションのインストール」



※ アイコンが見つからないときは、画面をスクロールしてください。

アカウントの種類

Windows 8.1 のアカウントには「Microsoft アカウント」と「ローカルアカウント」の 2 つがあります。Windows 8.1 の機能を十分に発揮するためには、Microsoft アカウントでを使用することをおすすめします。

※ Microsoft アカウントを作成するには、インターネット接続が必要です。

● Microsoft アカウント

Microsoft アカウント（電子メールアドレス）でサインインすると、クラウド接続により、次のようなことが可能になります。

- 「People」「メール」「OneDrive」など、クラウド接続するアプリを使用できます。
- 「ストア」（Windows ストア）でアプリを入手することができます。
- サインインするすべての Windows 8.1 PC で個人設定（テーマ、お気に入り、アプリなど）が同期されます。

● ローカルアカウント

ローカルアカウントは、1 台のコンピューターのみにアクセスできるアカウントです。ローカルアカウントでサインインしてコンピューターを使用する場合、次の制限があります。

- 「People」「メール」「OneDrive」など、クラウド接続するアプリは使用できません。
- 「ストア」（Windows ストア）は利用できません。
- 別の Windows 8.1 PC で個人設定（テーマ、お気に入り、アプリなど）を同期することはできません。

アカウントの種類は、後から変更することができます。

スタート画面右上のユーザーアイコン - 「アカウント画像の変更」

 p.23 「スタート画面」

省電力状態からの復帰方法

本機は、一定時間操作をしないと省電力機能が働いて、画面表示が消えるように設定されています。省電力状態からの復帰は、次の方法で行ってください。

省電力状態	復帰方法
ディスプレイの電源切	<ul style="list-style-type: none">● 画面にタッチする● キーボードを操作する *
スリープ	<ul style="list-style-type: none">● 電源スイッチを押す● キーボードを操作する *● タブレットを開く *
休止状態	電源スイッチを押す

* キーボードドック接続時のみ

省電力機能の詳細は、次の場所をご覧ください。



[PC お役立ちナビ] - [マニュアルびゅう] - 「機種名」 - 「ユーザーズマニュアル」 - 「省電力機能」

5 タッチパネルを操作する

本機のタッチパネルの操作方法について記載します。

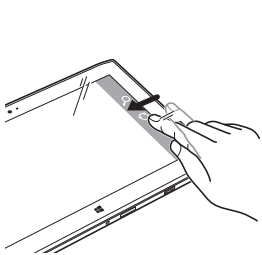

タッチパネルの操作方法

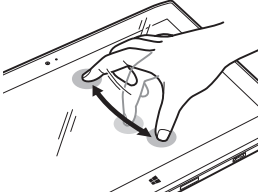
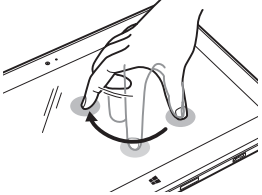
タッチパネルの操作方法は、次のとおりです。

タッチパネルを操作する場合の注意事項は次の場所をご覧ください。



[PC お役立ちナビ] - [マニュアルびゅうわ] - 「ユーザーズマニュアル」 - 「タッチパネルを使う」

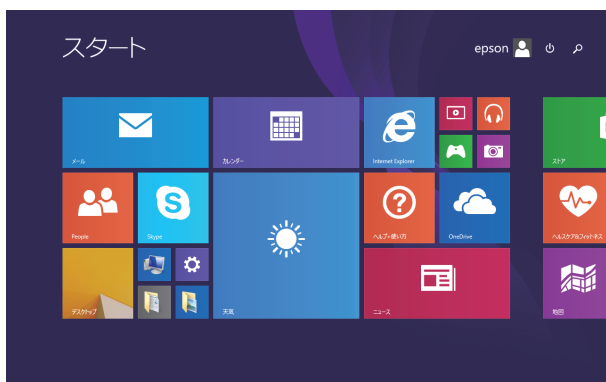
操作名	操作	マウスの場合	使用する場面
タップ	 <p>1 回軽くタッチ</p>	クリック	<ul style="list-style-type: none">● スタート画面でタイルからアプリを起動する● 文字の入力位置を指定する● メニューの項目を選択する
ダブル タップ	 <p>2 回軽くタッチ</p>	ダブル クリック	<ul style="list-style-type: none">● デスクトップでアイコンからアプリを起動する
タップ アンド ホールド	 <p>画面をタッチし 続ける</p>	右クリック	<ul style="list-style-type: none">● デスクトップで右クリックメニューを表示する
ドラッグ	 <p>タッチしたまま 動かす</p>	ドラッグ	<ul style="list-style-type: none">● タイルやアイコンを移動する● テキストの範囲を選択する● Windows ストア アプリを終了する  p.28
スワイプ	 <p>画面上をスッと 払うように指を 動かす</p>	—	<ul style="list-style-type: none">● チャームを表示する  p.24● 起動中のアプリを切り替える  p.27● アプリ一覧を表示する  p.26● アプリコマンドを表示する  p.29

ズーム		2本指で画面をつまみ（ピンチ）、開いたり閉じたりする	[Ctrl] + スクロールボタン	●画面を拡大する / 画面を縮小する
回転		2本指でタッチして回す	—	●オブジェクトを回転する

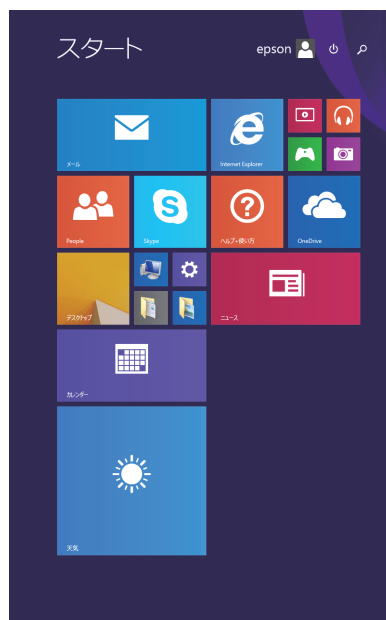
画面を回転する

タブレットのみで使用している場合、本機を回転させると、縦表示と横表示を切り替えることができます。地面方向（重力方向）が画面の下側になります。

- アプリによっては縦表示に対応していない場合があります。正常に動作しない場合は、横表示で使用してください。
- 動画再生中など、アプリを終了せずに回転機能を使うと、保存されていないデータが失われるおそれがあります。
- スクリーンセーバーの起動中に回転機能を使うと、画面が乱れる場合があります。
- キーボードドックや外部ディスプレイを接続している場合は、横表示に固定されます。また、縦表示で使用中にキーボードドックや外部ディスプレイを接続すると、画面は横表示に戻ります。



<横表示>



<縦表示>

画面自動回転をオンにする

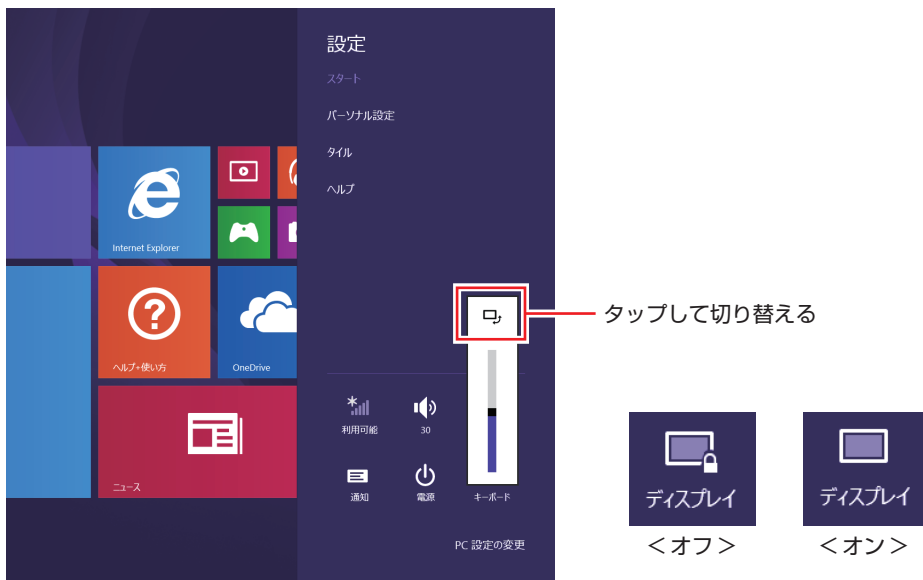
次の両方の設定がオンになっている場合に、画面を回転させることができます。

- タブレット右側面の画面自動回転切替スイッチ



- チャームを表示 - 「設定チャーム」 - 「ディスプレイ」

 p.25 「設定メニュー」



設定のどちらか一方がオフになっているときや、キーボードドックを接続しているときは、画面の回転はできません。

ソフトウェアキーボードを使う

タブレットでの文字の入力は、ソフトウェアキーボードを使用して行います。

ソフトウェアキーボードを表示する

ソフトウェアキーボードは次の場所から表示します。

- 設定メニューの「キーボード」 - 「タッチキーボードと手書きパネル」

 p.25 「設定メニュー」



- デスクトップ右下のキーボードアイコン

 p.26 「デスクトップ」



- 画面に表示されたテキストボックス



キーの機能

ソフトウェアキーボードの主なキーを説明します。

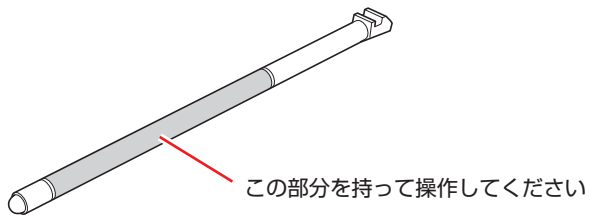



かな入力のアイコンは、次の設定を行うと有効になります。

チャームを表示 - 「設定チャーム」 - 「PC 設定の変更」 - 「PC とデバイス」 - 「入力」
- 「ハードウェアキーボードに…」を「オン」に設定

タッチペンを使う







本機では、指のかわりにタッチペンを使用して操作を行うこともできます。
画面にタッチするときは、強く突いたりこすったりせずに、軽く触れてください。



キーボードドック添付時、タッチペンはキーボードドックに収納されています。
 p.2 「ハードウェアを確認する」

6 Windows 8.1 の基本操作

ここでは、Windows 8.1 の基本的な操作方法を説明します。

- 起動と終了  p.21
- スタート画面  p.23
- チャーム  p.24
- アプリ  p.25
- デスクトップ  p.26
- キーボードドック接続時の操作  p.30

詳細な操作方は、次の場所をご覧ください。

- スタート画面の [ヘルプ+使い方]
- PC お役立ちナビの「お役立ち」
 p.36 「PC お役立ちナビ」

起動と終了


Windows 8.1 の起動方法 / 終了方法を説明します。

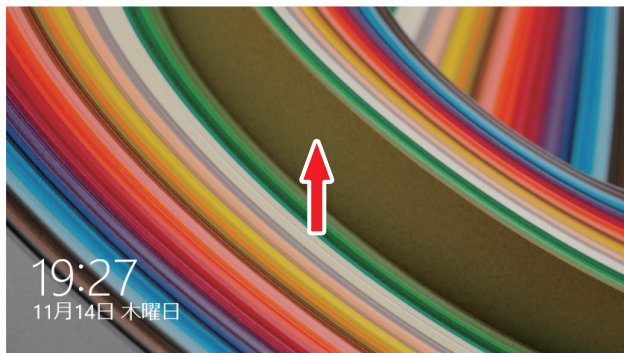
起動方法

本機の電源を入れ、Windows を起動する方法は、次のとおりです。



！ 制限

- 周辺機器の電源をいつ入れるかは、周辺機器のマニュアルで確認してください。電源を入れるタイミングがコンピューターより先か後かは、周辺機器により決まっています。
- 電源を入れなおすときは、20 秒程度の間隔を空けてから電源を入れてください。電気回路に与える電氣的な負荷を減らして、eMMC（記憶装置）などの動作を安定させます。

- 1** 電源スイッチ（）を押して、本機の電源を入れます。
- 2** パスワードを設定していると、ロック画面が表示されます。
ロック画面が表示された場合は、次の操作を行います。
 - 1** 画面を下から上へスワイプします。



<イメージ>

- 2** パスワード入力画面が表示されたら、パスワードを入力して  をタップします。
Windows が起動し、スタート画面が表示されます。
 p.23 「スタート画面」

終了方法

Windows の終了方法を説明します。終了方法には次の 2 つがあります。

● シャットダウン

通常の終了方法です。システムは完全には終了しません。次回 Windows の起動が速くなります。

● PC の電源を切る

システムを完全に終了する方法です。次回 Windows の起動には時間がかかります。

周辺機器を接続・交換する場合は、「シャットダウン」ではなく、「PC の電源を切る」で終了してください。「シャットダウン」で終了した状態で機器を変更すると、機器が認識されなくなる場合があります。

また、ドライバーやアプリをインストールした場合や、Windows Update を行った場合、「シャットダウン」では更新内容が適用されません。「再起動」または「PC の電源を切る」を行って、一度システムを完全に終了してください。



[PC お役立ちナビ] - [マニュアルびゅうわ] - [機種名] - [ユーザーズマニュアル] - [トラブル時に効果的な対処方法] - [再起動]



制限

キーボードドックに HDD 搭載時、HDD アクセスランプ点滅中に本機の電源を切ると、HDD に収録されているデータが破損するおそれがあります。



参考

終了時の注意

複数のユーザーがサインインしている状態で終了しようとする時、「まだ他のユーザーがこの PC を使っています。…」と表示されます。この場合は、ほかのユーザーがサインアウトしてから終了してください。

電源スイッチで終了する


電源スイッチを押してシャットダウンするように設定したい場合は、次の場所で行ってください。

[デスクトップ] - [設定チャーム] - [コントロール パネル] - [システムとセキュリティ] - [電源オプション] - [電源ボタンの動作を選択する] - [電源ボタンを押したときの動作] を「シャットダウン」に設定

シャットダウン

シャットダウン方法は、次のとおりです。

1

スタート画面右上の  をタップし、表示された項目から「シャットダウン」をタップします。

Windows が終了します。

PCの電源を切る

システムを完全に終了する方法は、次のとおりです。

- 1** チャームを表示 - 「設定チャーム」 - 「PC 設定の変更」 - 「保守と管理」 - 「回復」 - 「PC の起動をカスタマイズする」の [今すぐ再起動する] をタップします。
- 2** 表示されたメニューで「PC の電源を切る」をタップします。
Windows が終了します。

スタート画面

本機の電源を入れ、Windows が起動すると、スタート画面が表示されます。これが Windows 8.1 の基本画面です。画面上の各タイルをタップすると、アプリ (p.25) やデスクトップ (p.26) が起動します。



<イメージ>

画面右上のボタンを押すと、アカウントの管理や検索、スリープ/シャットダウン/再起動を行うことができます。





参考

キーボード入力で検索する

キーボードドックを接続しているときに、スタート画面が表示されている状態でキーボードで文字入力を始めると、自動的に検索メニューへ遷移することができます。

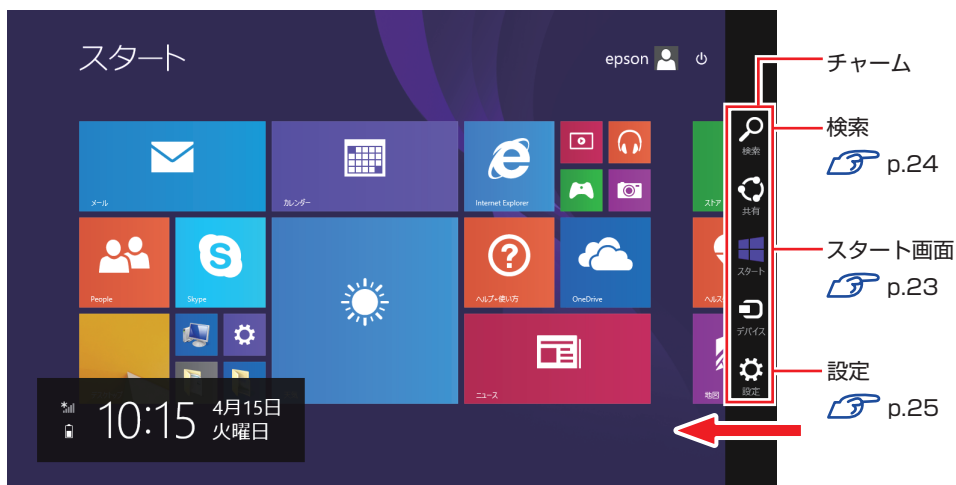
チャーム

画面外右端から左へスワイプすると、画面右側にチャームが表示されます。

※キーボードdockを接続しているときは、 +  でも表示できます。

設定やファイル、情報を探るときは検索チャームを、スリープ/シャットダウン/再起動、画面の輝度調整などを行うときは、設定チャームをタップします。

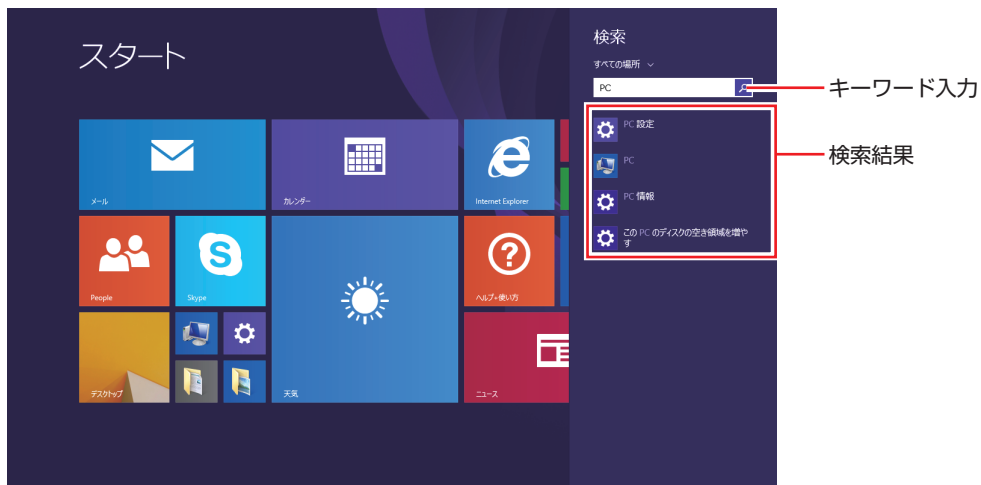
※チャームは、スタート画面だけでなく、各アプリの画面上でも表示されます。



<イメージ>

検索メニュー

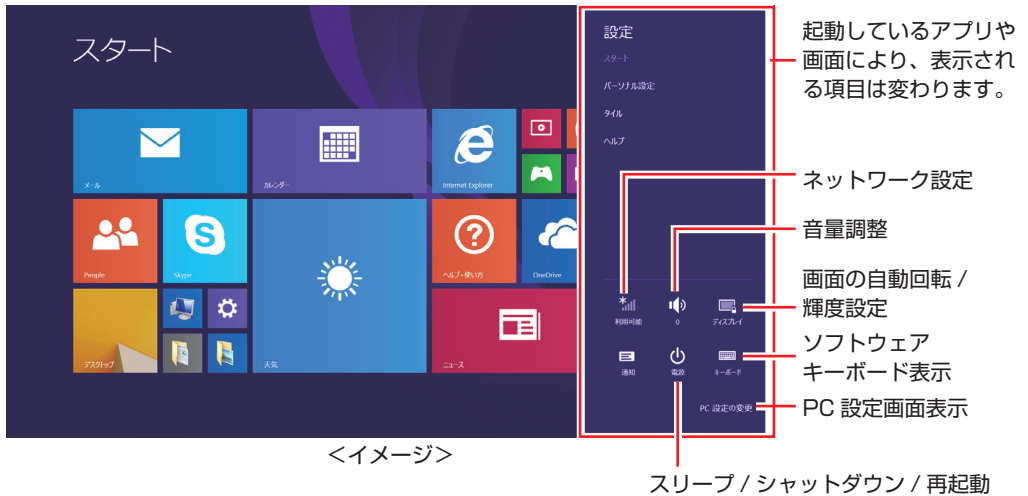
検索チャームをタップすると、検索メニューが表示されます。インターネットに接続している状態で検索を行うと、Bingの検索結果も同時に表示されます。



<イメージ>

設定メニュー

設定チャームをタップすると、設定メニューが表示されます。



アプリ

スタート画面に表示されているタイルをタップすると、アプリが起動します。アプリには次の2種類があります。

●Windows ストア アプリ

スタート画面上で動作するアプリです。

Internet Explorer、メール、フォト、カレンダーなど

Windows ストア アプリは、Windows ストアからダウンロードすることができます。



●Windows アプリ

デスクトップ上で動作するアプリです。

PC お役立ちナビ、Adobe Reader、Internet Explorer など



各アプリの詳細説明は、次の場所をご覧ください。



[\[PC お役立ちナビ\]](#) - [\[お役立ち\]](#)

アプリ一覧を表示する

スタート画面を下から上へスワイプすると、アプリの一覧が表示されます。

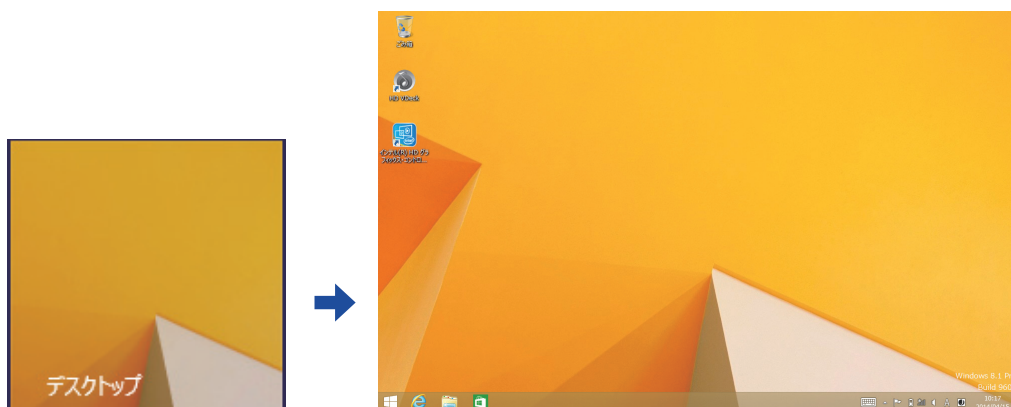


<イメージ>

- 後からインストールしたアプリは、一覧に追加されます。
- アプリは、スタート画面やタスクバーに表示（ピン留め）することができます。アプリアイコン上でタップアンドホールドし、表示されたメニューから設定してください。

デスクトップ

スタート画面でデスクトップタイルをタップすると、Windows のデスクトップが表示されます。デスクトップ画面では、Windows アプリやエクスプローラーを使用することができます。



<イメージ>



参考

アイコンや文字サイズを大きくする

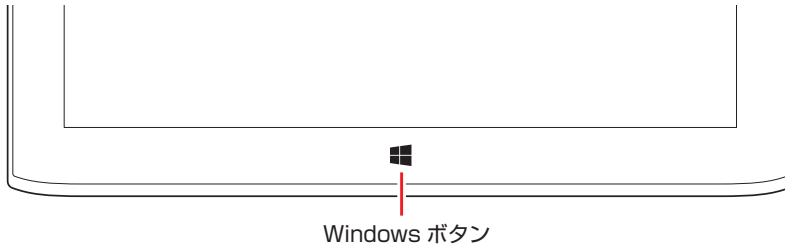
デスクトップのアイコンや文字サイズを拡大して使用したい場合は、次の場所で設定を行います。

デスクトップ上でタップアンドホールダー「画面の解像度」－「テキストやその他の項目の大きさの変更」

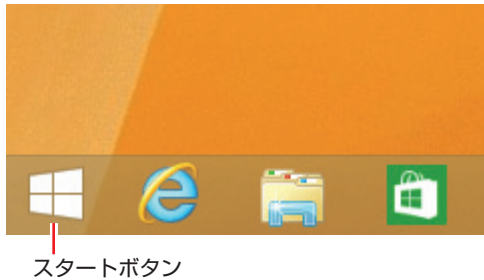
スタート画面に戻る

Windows ボタンを押すと、スタート画面に戻ります。

※ Windows ボタンは、付属のタッチペンでは動作しません。



画面左下のスタートボタンをタップして戻ることもできます。



起動中のアプリを切り替える

いくつかのアプリが起動している場合、次の方法でアプリを切り替えることができます。

●アプリを1つずつ切り替える

画面外左端から右へスワイプするたびに、起動中のアプリが次々と切り替わります。



<イメージ>

● 起動中のアプリ一覧を表示して切り替える

画面外左端から右へ少しだけスワイプして画面左端まで戻すと、起動中のアプリ一覧が表示されます。使用するアプリをタップして切り替えます。



<イメージ>

Windows ストア アプリを終了する

Windows ストア アプリが起動している状態で、すばやく画面外上端から画面外下端までドラッグすると、アプリがスタンバイモードになります。



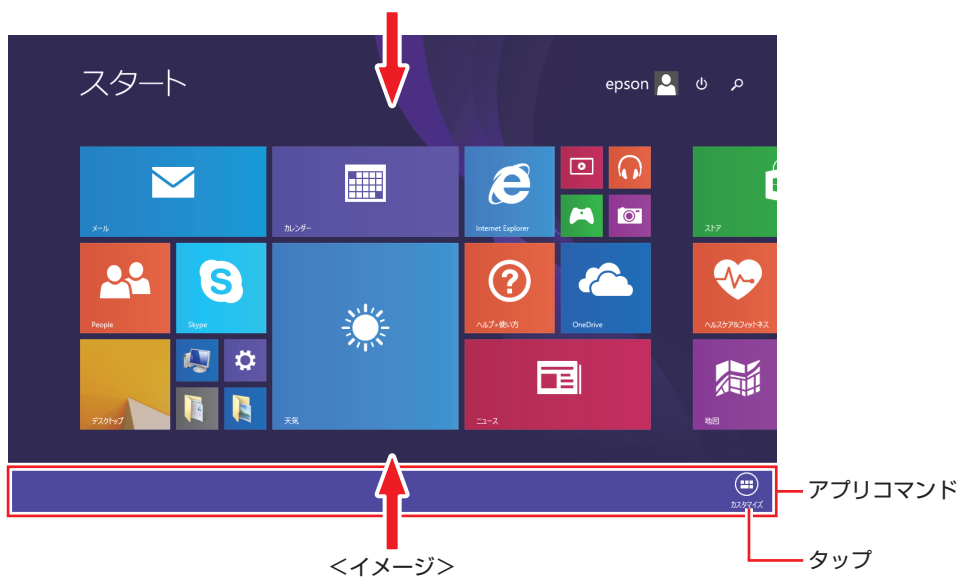
<イメージ>

アプリコマンドを表示する

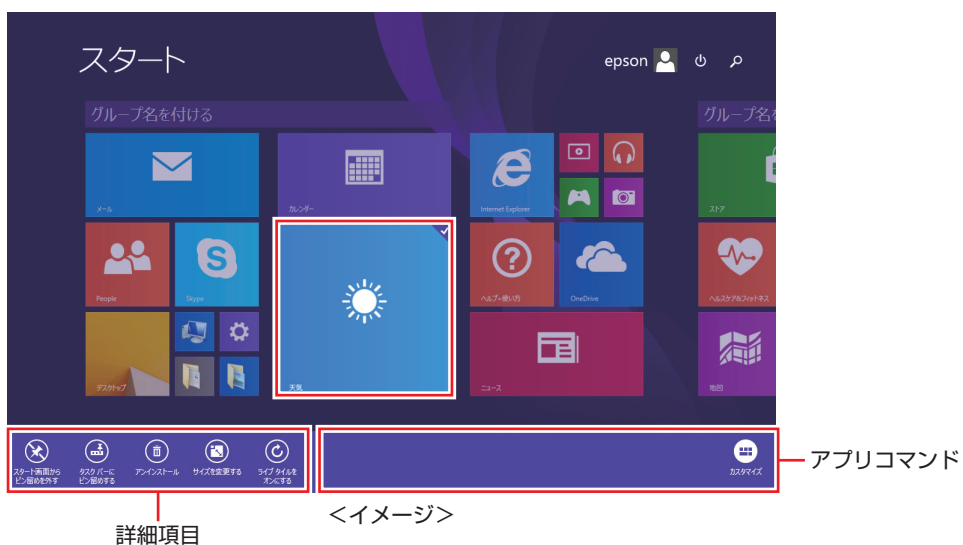
次の操作をすると、画面下部にアプリコマンドが表示されます。

※ 表示される項目は、各アプリにより異なります。

- ① 画面外上端から下へ、または画面外下端から上へスワイプし、「カスタマイズ」をタップします。



- ② アプリのタイルをタップすると、詳細項目が表示されます。



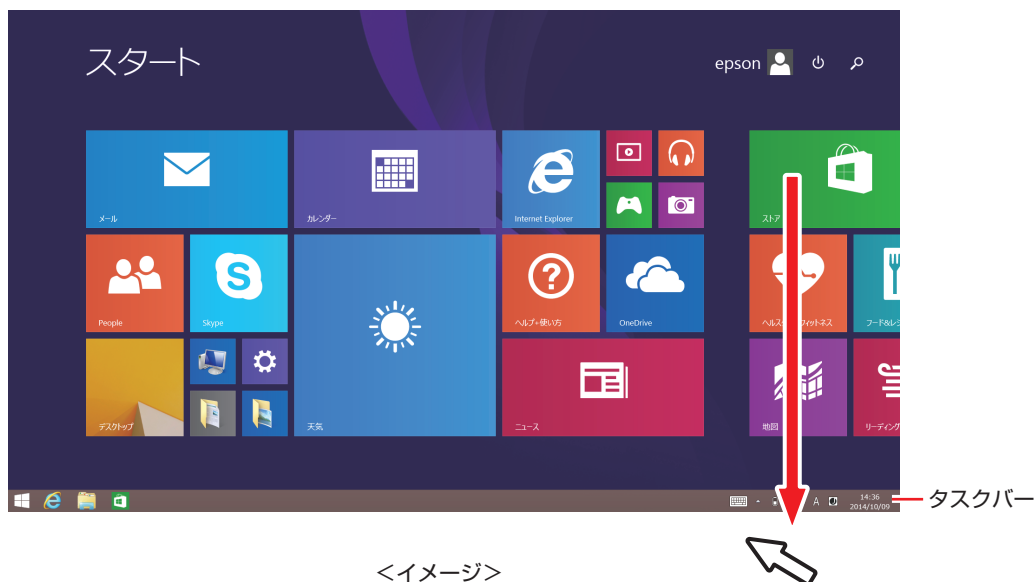
キーボードドック接続時の操作

キーボードドック添付時のみ

キーボードドックを接続している場合は、次の操作ができます。

タスクバー



ポインターを画面下へ動かすと、タスクバーが表示されます。

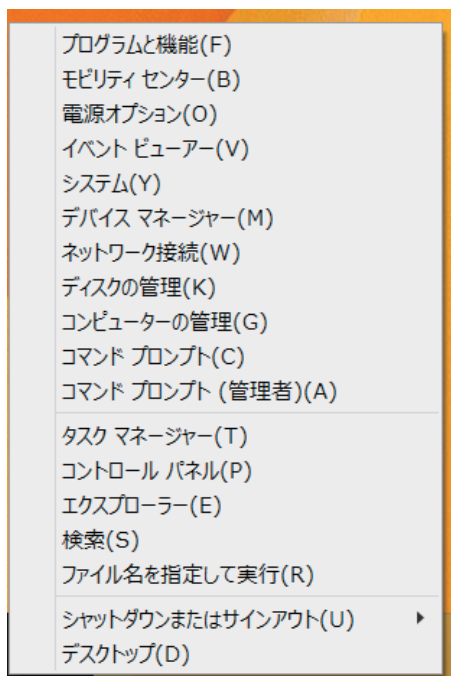


※タスクバーは、デスクトップ画面（p.26）では常に表示されます。

スタートメニュー




画面左下隅で右クリックすると、次のメニューが表示されます。各項目へのアクセス時に便利です。メニューからシャットダウンや再起動も選択できます。

※キーボードの  +  でも表示できます。



キーボードショートカット一覧

スタート画面で使えるキーボードショートカットの一部を紹介します。

キー	動作
	スタート画面表示  p.23
 + 	チャームと時計表示  p.24
 + 	設定メニュー表示  p.25
 + 	アプリ検索  p.23
 + 	設定検索  p.23
 + 	ファイル検索  p.23
 + 	スタートメニュー表示  p.31
 +  + 	起動中アプリ一覧表示  p.27
 + 	起動中アプリの切り替え  p.27

7 セットアップ後の作業

Windows のセットアップが完了したら、次の作業を行います。

画面の明るさ(輝度)や音量を調整する
















画面の明るさ(輝度)や音量の調節は、設定メニューで行います。

 p.25 「設定メニュー」

音量の調節は、音量調節ボタンで行うこともできます。

 p.5 「各部の名称」

キーボードドックを接続している場合は、キー操作でも調整できます。

キー操作	状態
 +  	画面が暗くなります。
 +  	画面が明るくなります。
 +  	一度押すとミュート(消音)になり、もう一度押すとミュートが解除されます。
 +  	音量が小さくなります。
 +  	音量が大きくなります。

インターネットに接続する

インターネットへの接続は、プロバイダーから提供されたマニュアルを参照して行ってください。

※ 外部ネットワークに接続する際は、電気通信事業法に基づく認証機器に接続してください。

無線 LAN への接続方法は次の場所をご覧ください。



[PC お役立ちナビ] - [マニュアルびゅうわ] - 「機種名」 - 「ユーザーズマニュアル」 - 「無線 LAN 接続の設定をする」

Web ページの閲覧

Web ページの閲覧には、「Internet Explorer」を使用します。

Windows 8.1 では、Internet Explorer が 2 種類あります。

● Windows ストア アプリ

スタート画面の [Internet Explorer] をタップする



● Windows アプリ

デスクトップ左下の [Internet Explorer] アイコンをタップする



<Internet Explorer アイコン>

セキュリティー対策

インターネットに接続する場合は、必ずセキュリティー対策を行ってください。



[PC お役立ちナビ] – [マニュアルびゅうわ] – [機種名] – 「ユーザーズマニュアル」 – 「インターネットを使用する際のセキュリティー対策」

「ユーザーズマニュアル」では、以下のセキュリティー機能について記載しています。

- Windows Update
- セキュリティーアプリ (ウイルスバスター クラウド 90 日版)
- Web フィルタリングアプリ (i-フィルター 30 日版)

購入時、アプリはインストールされていません。

使用する場合は、次の場所からインストールしてください。

アプリ一覧 (p.26) の「おすすめアプリケーションのインストール」

メールアプリを使う

Windows 8.1 のメールアプリについて説明します。

メールアプリは、Web メールを利用するためのアプリです。




初回、メールアプリを起動すると、サインイン画面が表示されます。

Microsoft アカウントでサインインすると、メールアプリが利用できます。

※ Microsoft アカウントをお持ちでない場合は、画面から新規登録してください。

※ すでに Microsoft アカウントで Windows にサインインしている場合は、すぐにメールアプリを利用できます。

メールアプリの使い方は、次の場所をご覧ください。

- Windows の [ヘルプ+使い方]
- PC お役立ちナビの「お役立ち」
 p.36 「PC お役立ちナビ」



● Web メールとは

メールの作成や送受信、閲覧をインターネット上で行います。メールデータはインターネット上のサーバーに保存されているため、別の端末を使用して外出先からもメールを利用することができます。

● Office をインストールしているときは

Office をインストールしている場合は、Outlook を使用することもできます。Outlook の使用法は、Outlook のヘルプをご覧ください。

アプリをインストールする

アプリを使用する場合は、インストールを行ってください。

●Windows アプリ

光ディスクメディアや Web ページからインストールします。
インストール方法は、アプリのマニュアルを参照してください。

●Windows ストア アプリ

[ストア] (Windows ストア) からインストールしてください。



参考

おすすめアプリのインストール

次のアプリは、購入時、本機にインストールされていません。

- ウイルスバスター クラウド 90 日版
- i-フィルター 30 日版
- Endeavor 電源プラン設定ツール
- ネットワーク切替えツール

必要に応じて次の場所からインストールしてください。

アプリ一覧 (p.26) の「おすすめアプリケーションのインストール」

周辺機器を接続する

プリンターなどの周辺機器を使用する場合は、周辺機器に添付のマニュアルを参照して接続を行ってください。

Windows/UEFI/ドライバー/アプリをアップデートする

Windows やドライバー、アプリなどは、アップデートして最新の状態でお使いください。

※ アップデートをするにはインターネットへの接続が必要です。

●Windows

自動更新の設定がされていると、更新プログラムが自動的にダウンロード、インストールされ、最新の状態になります。



[PC お役立ちナビ] - [マニュアルびゅうわ] - 「機種名」 - 「ユーザーズ マニュアル」 - 「インターネットを使用する際のセキュリティ対策」 - 「Windows Update」

●UEFI、ドライバー

最新の UEFI やドライバーは、下記の場所からダウンロードできます。



[PC お役立ちナビ] - 画面右下 [ダウンロード]

- Windows アプリ

アップデート方法は、アプリのヘルプやマニュアルをご覧ください。

- Windows ストア アプリ

[ストア] にアップデート情報が表示されたら、アップデートを行ってください。

回復ドライブを作成する

事前に外付け USB 機器に回復ドライブを作成しておく、なんらかの原因で Windows が起動しなくなった場合、回復ドライブを使用して Windows の再インストールを行うことができます。不具合発生時に対応できるように、回復ドライブを作成しておくことをおすすめします。作成方法は、次の場所をご覧ください。



[PC お役立ちナビ] – 画面下 [ユーザーサポート] – FAQ 番号 : 27621



制限

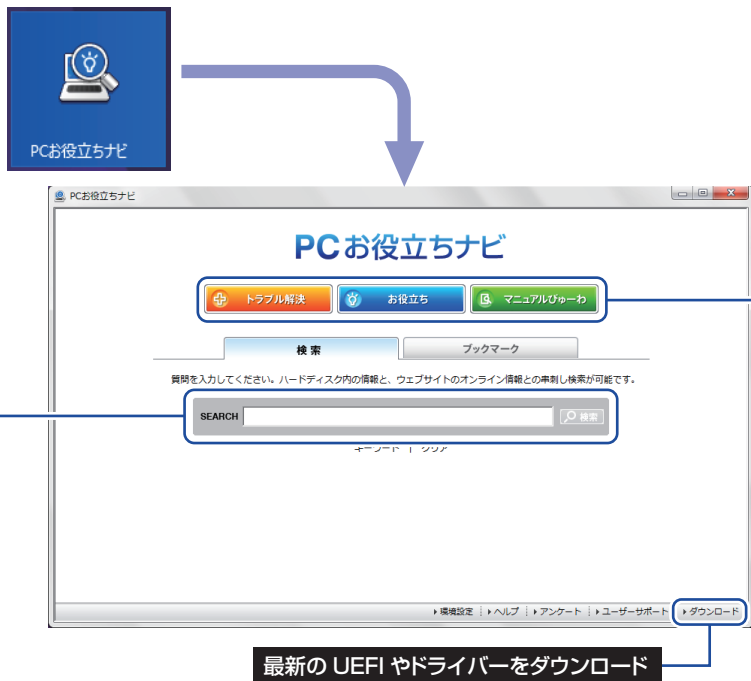
<キーボードドックに HDD が搭載されている場合>

回復ドライブを作成すると、USB 機器のデータはすべて消去されます。

キーボードドックは USB 接続です。キーボードドックに HDD が搭載されている場合は、データの消去を防ぐため、必ずキーボードドックを取り外してから、回復ドライブの作成を行ってください。

8 PC お役立ちナビを使う

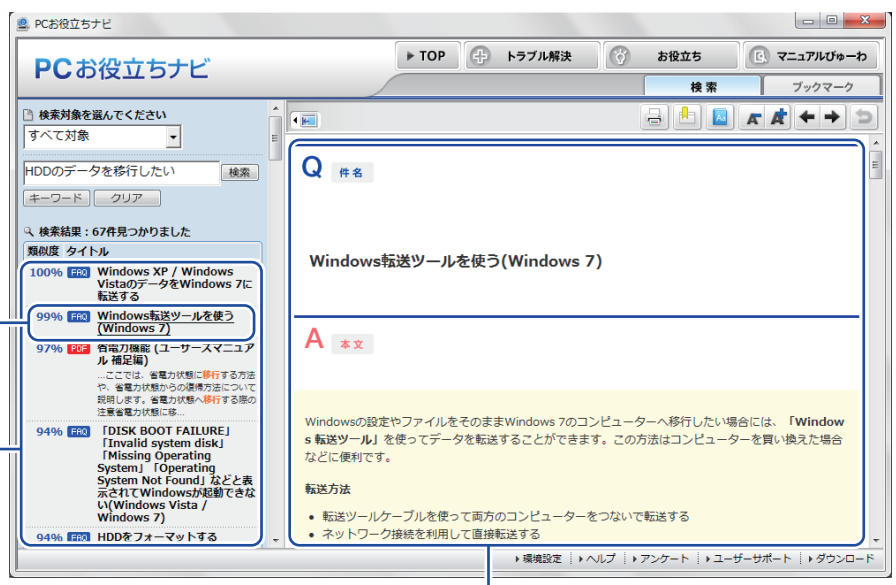
本機には、知りたい情報を簡単に検索できるサポートツール [PC お役立ちナビ] が搭載されています。困ったときや、役立つ情報を知りたいときなどにお使いください。最新のUEFIやドライバーもダウンロードできます。



- ① 検索をする
- TOPページから検索実行
- 本機に収録されている情報+ユーザーサポートページのオンライン情報を一度に検索

※本機に収録されている情報 = サポートコンテンツ・マニュアル (PDF)・ヘルプなど
※インターネットに接続していない場合は、本機に収録されている情報のみを検索します。

- ① 見たい項目を選択
- 検索結果



② 内容が表示される

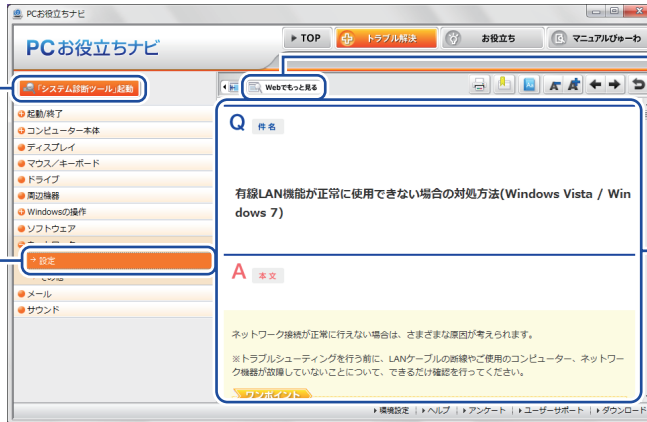
② おすすめコンテンツ・マニュアルを見る

トラブル解決

トラブル解決に役立つ情報や、システム診断ツールを収録しています。

システム診断
を実行

①トラブルの種類
を選択



もっと情報が見たい
とき→Webへ

②内容が表示される

お役立ち

コンピューターの便利な使い方や、役立つ情報を収録しています。

①情報の分類を
選択

②見たい項目を
選択



もっと情報が見たい
とき→Webへ

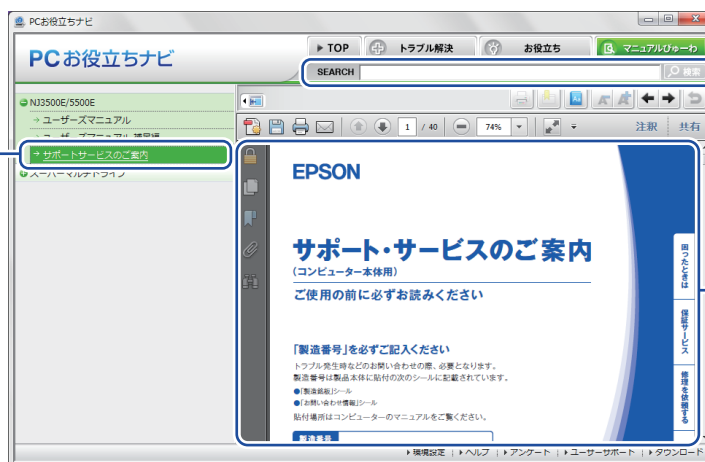
[お役立ち]内の
情報を検索

③内容が表示される

マニュアルびゅーわ

本機に添付されているマニュアルのPDFデータを収録しています。

①見たいマニュアル
を選択



[マニュアルびゅーわ]
内の情報を検索

②マニュアル(PDF)
が表示される

<イメージ>

9 ユーザーサポートページ

当社では、コンピューターを安心してお使いいただけるよう、ホームページ上で各種サポート情報を提供しています。

トラブル解決方法や技術情報を見る → **FAQ Search**

※ [PC お役立ちナビ] から同様の検索ができます。

最新のUEFI / ドライバー / マニュアルをダウンロードする → **ダウンロード**

※ [PC お役立ちナビ] 右下の「ダウンロード」からもアクセスできます。

修理のご案内や保守・保証情報を見る → **アフターサービス**

アクセス方法

ユーザーサポートページへは、次の場所からアクセスできます。

- <http://www.epsondirect.co.jp/support/>
- [PC お役立ちナビ] 右下の「ユーザーサポート」

Epson Direct SHOP

ユーザーサポート

サポートトップ | 調べる | ダウンロード | アップグレード | 修理する | 各種サービスメニュー | サイトマップ | オンラインショップ

FAQ Search (サポート情報検索) | FAQ番号から探す | 表示

製品名から検索 | 製造番号から検索 | FAQランキング/新着FAQ

お使いの製品に関するFAQを検索できます。
製品名とOSを選択し、キーワードを入力後、検索ボタンをクリックしてください。

選択 | キーワード検索 (任意)

タイプ: タワーPC | シリーズ: Endeavor Pro | モデル: Pro8000-M | お使いのOS: [dropdown]

製品を選択後キーワードを入力してください

検索 | FAQ Search ヘルプ



ダウンロード | インフォメーション | Windows 8.1アップデート情報 | 機種/OS情報 | アフターサービス

<画面はイメージです>


10 安全にお使いいただくために

このマニュアルおよび製品には、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために絵表示が使われています。



その表示と意味は次のとおりです。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- 障害や事故の発生を防止するための禁止事項の内容を表しています。

	製品の取り扱いにおいて、してはいけない行為（禁止行為）を示しています。
---	-------------------------------------

- 障害や事故の発生を防止するための指示事項の内容を表しています。

	必ず行う事項（指示、行為）を示しています。
	電源プラグをコンセントから必ず抜くことを示しています。

警告

電源プラグを取り扱う際は、次の点を守ってください。

取り扱いを誤ると、感電・火災の原因となります。

- 電源プラグはホコリなどの異物が付着したまま差し込まない。
- 電源プラグは刃の根元まで確実に差し込む。
- 電源プラグを長期間コンセントに差したままにしない。
- コンセントから抜くときは、電源コードを引っ張らず、電源プラグを持つ。

電源プラグは、定期的にコンセントから抜いて、刃の根元や刃と刃の間を清掃してください。



電源コードのたこ足配線はしないでください。

発熱し、火災の原因となります。

電源コードは、家庭用電源コンセント（交流 100V）に接続してください。



本機には、必ず同梱された電源コード / AC アダプターを使用してください。また、本機の電源コード / AC アダプターは、他の製品に使用しないでください。

感電・火傷・火災の原因となります。

破損した電源コード、ケーブルを使用しないでください。感電・火災の原因となります。

電源コードやケーブルを取り扱う際は、次の点を守ってください。

- 電源コードやケーブルを加工しない。
- 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない。
- 電源コードやケーブルの上に重い物を載せない。
- 発熱器具の近くに配線しない。
- 電源コードやケーブルを束ねた状態で使用しない。

電源コードやケーブルが破損したら、カスタマーサービスセンターまでご連絡ください。カスタマーサービスセンターへの連絡方法は、[別冊](#)『サポート・サービスのご案内』をご覧ください。



本機は、次のような異常状態のまま使用しないでください。

感電・火災のおそれがあります。

- 異臭や異音がしたり、発煙したりしている。
- 触れないほど熱い。
- 割れや変形があるなど、破損している。

万一、異常状態になった場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、カスタマーサービスセンターまでご連絡ください。カスタマーサービスセンターへの連絡方法は、[別冊](#)『サポート・サービスのご案内』をご覧ください。

お客様による修理は危険ですから絶対にしないでください。

水のかかる場所で使用したり、本機の上に水などの入った容器を置いたりしないでください。

水などの液体や異物が本機内部に入った場合は、そのまま使用しないでください。

感電・火災の原因となります。

万一、本機内部に水などの液体が入った場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、カスタマーサービスセンターまでご連絡ください。カスタマーサービスセンターへの連絡方法は、[別冊](#)『サポート・サービスのご案内』をご覧ください。



アルコール、シンナー、ガソリンなど揮発性可燃物質または可燃性ガスのある場所では使用しないでください。

また、本機の内部や周囲で可燃性ガス含有のスプレーを使用しないでください。火災の原因となります。









本機の分解・改造はしないでください。

けが・感電・火災の原因となります。

警告

		本体を火中に入れたり、火気に近づけたり、加熱したり、高温状態で放置したりしないでください。 破裂などで火傷の原因となります。
		付属の AC アダプターを、分解・改造しないでください。 感電や火傷、化学物質による被害の原因となります。 分解・改造した AC アダプター（当社での修理対応は除く）での本機の使用は、安全性や製品に関する保証ができません。
		航空機や病院など、電波の使用を禁止された区域に本機を持ち込むときは、本機の電源を切るか、無線機能（無線 LAN・Bluetooth など）の電波を停止してください。 電波が電子機器や医療用電気機器に影響を及ぼす場合があります。 また、本機に自動的に電源が入る設定をしている場合は、設定を解除してから、本機の電源を切ってください。
		医療機関の屋内で無線機能（無線 LAN・Bluetooth など）を使用するときは、次のことを守ってください。 <ul style="list-style-type: none">手術室・集中治療室（ICU）・冠状動脈疾患監視室（CCU）には、本機を持ち込まない。病棟内では、本機の電源を切るか電波を停止する。病棟以外の場所でも、付近に医療用電気機器がある場合は、本機の電源を切るか電波を停止する。医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従う。本機に自動的に電源が入る設定をしている場合は、設定を解除してから、本機の電源を切る。
		植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している場合、無線機能（無線 LAN・Bluetooth など）を使用するときは、装着部と本機の間を 22cm 以上離してください。 電波が、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の作動に影響を及ぼす場合があります。 満員電車など、付近に心臓ペースメーカーを装着している人がいる可能性がある場所では、本機の電源を切るか電波を停止してください。
		無線機能（無線 LAN・Bluetooth など）は、自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しないでください。 電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

注意

		小さなお子様の手の届く所に設置、保管しないでください。 落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。
		不安定な場所（ぐらついた台の上や傾いた所など）に置かないでください。 落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。
		湿気やホコリの多い所に置かないでください。 感電・火災の原因となります。

⚠ 注意



各種コード（ケーブル）は、マニュアルで指示されている以外の配線をしないでください。配線を誤ると、火災の原因となります。



交流 100V 以外の電源は、使用しないでください。
交流 100V 以外の電源を使うと、感電・火災の原因となります。



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となります。



雷が鳴りだしたら、電源プラグを触らないでください。
感電の原因となります。



ヘッドホンやスピーカーは、ボリュームを最小にしてから接続し、接続後に音量を調節してください。
ボリュームの調節が大きくなっていると、思わぬ大音量により聴覚障害の原因となります。



パームレストやキーボードに長時間手を置かないでください。
パームレストやキーボードが熱を持つことがあり、低温火傷のおそれがあります。



ひざの上で長時間使用しないでください。
本機底面が熱を持つため、低温火傷の原因となります。



長時間または不自然な姿勢でのコンピューター操作は避けてください。
肩こり、腰痛、目の疲れ、腱鞘炎などの原因となります。



AC アダプターに強い衝撃や振動を与えたり、乱暴に扱ったりしないでください。また、破損した AC アダプターを使用しないでください。
感電・火傷の原因となったり、発熱・発火・破裂のおそれがあります。
万一、本機の落下などで強い振動や衝撃が加わり、AC アダプターが破損したり、変形したりした場合は、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。



AC アダプターを毛布や布団で覆わないでください。
火傷・火災のおそれがあります。



AC アダプターにケーブルや電源コードを巻き付けしないでください。
AC アダプターが高温になり、火傷のおそれがあります。



AC アダプターの温度の高い部分に、長時間直接触れないでください。
低温火傷の原因となります。

⚠ 注意



オプティカルマウスを使用する場合、マウス底面にある光学式センサーの光を直接見つめないでください。また、レーザーマウスの場合は、マウス底面から目に見えないレーザーが出ています。マウス底面は見つめないでください。
視覚障害の原因となります。



液晶ディスプレイが破損して、内部の液体が漏れた場合は、液体をなめたり、触ったりしないでください。
火傷や化学物質による被害の原因となります。
万一、液体が皮膚に付着したり、目に入ったりした場合は流水で十分に洗い、医師に相談してください。



本機を移動する場合は、電源を切り、本機からすべての配線を取り外してください。
コード（ケーブル）などが破損し、火災・感電の原因となります。また、コード（ケーブル）などが引っかかり、けがの原因となります。



連休や旅行などで本機を長期間使用しないときは、安全のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。
火災の原因となることがあります。

11 機能仕様一覧

型番	TN30E	
CPU	インテル Celeron プロセッサ N2940	
チップセット	SoC CPU 内蔵	
システムファームウェア	AMI UEFI	
メインメモリー *1	規格	PC3L-12800 (DDR3L-1600 SDRAM)
	容量	4GB
ビデオコントローラー	インテル HD グラフィックス	
ビデオメモリー (メインメモリーと共用)	1792MB (最大)	
液晶タイプ、表示解像度 (最大)	11.6 型フルHD 液晶 1920 × 1080、静電式タッチパネル (10 点マルチタッチ対応)、True Color32 ビット (約 1,677 万色) *2	
外部ディスプレイ表示解像度 (最大) *3	1600 × 1200、1920 × 1200 (ワイドディスプレイ接続時のみ)	
記憶装置	eMMC 64GB	
メモリーカードスロット	1 : Micro SD メモリーカード <SDHC/SDXC 対応 > *4	
サウンド機能	チップセット内蔵 ハイ・デフィニション・オーディオ対応コントローラー REALTEK 製 ALC269-VC、ステレオスピーカー (出力 2.0W × 2)、モノラルマイク	
無線 LAN / Bluetooth	Chicony 製 C706N0-A2	
カメラ	約 103 万画素	
インタフェース	USB	Micro USB 3.0 × 1 (右側面)
	サウンド	コンボオーディオ × 1 (ヘッドホン/マイク兼用)
	ディスプレイ	Mini HDMI 19ピン × 1 (右側面)
キーボードドック *5	キーボード	日本語対応 86 キー
	ポインティングデバイス	タッチパッド
	インタフェース	USB2.0 × 2 (右側面)
	HDD (オプション)	シリアル ATA300MB/s 対応 2.5 型 HDD
セキュリティチップ (TPM)	TPM 2.0 対応 SLB9665 コントローラー	
電源	AC アダプター *6 (ADP-40KD)	入力 : AC100V ~ 240V ± 10% (50/60Hz)、1.2A 出力 : DC19V、2.1A、40W 質量 : 約 230g (電源コード含む)
	内蔵バッテリー	容量 タブレット : 3700mAh リチウムイオンポリマー 7.4V キーボードドック *5 : 4460mAh リチウムイオンポリマー 7.4V 駆動時間 *7 タブレット : 4.7 時間 キーボードドック接続時 *5 : 8.4 時間
本体寸法 (幅×奥行き×高さ)	タブレット	300 × 194 × 11mm (突起部除く)
	キーボードドック 接続時 *5	300 × 222 × 26mm (突起部除く)
本体質量	タブレット	約 720g
	キーボードドック 接続時 *5	約 1.6kg
消費電力 (AC 側)	最大定格出力時 (理論値) : 46.9W	
動作環境	動作温度 : 10 ~ 35℃ 動作湿度 : 20 ~ 80% (ただし、結露しないこと)	

*1 新規メモリー追加や最大搭載可能容量変更の可能性あり (当社ホームページ参照)。

*2 ビデオコントローラーのディザリング機能により約 1,677 万色を実現。True Color 32 ビット。

*3 本機搭載のビデオコントローラー出力解像度 (実際の表示は接続するディスプレイの仕様による)。

*4 記載は対応規格であり、すべてのカードでの動作を保証するものではありません。

*5 購入時の選択により、添付されていない場合があります。

*6 標準添付の電源コードは、AC100V 用 (日本仕様)。本製品は国内専用のため、海外での使用は保証対象外。

*7 動作時間は JEITA 測定方法 Ver.2.0 に基づく測定値 (システム構成や使用環境により異なる)。最小構成時。

本書に記載している仕様は製品発売時の情報です。最新情報は次の場所をご覧ください。



「PC お役立ちナビ」 - 画面下 [ユーザーサポート] - FAQ 番号 : 17845

無線機能

本機の無線機能について記載します。

Bluetooth

本機の Bluetooth* の仕様は次のとおりです。

準拠規格	Bluetooth 標準規格 V4.0+EDR
転送速度(規格値)	3Mbps

* 本製品には、電波法の規定により、工事設計認証を取得した無線設備を内蔵しています。

認証製品名 : RTL8821AENF

認証番号 : 201-135229

無線 LAN

無線 LAN*¹ の仕様は次のとおりです。

準拠規格	IEEE802.11ac/a/n 無線 LAN 標準プロトコル、ARIB STD-T71 IEEE802.11b/g/n 無線 LAN 標準プロトコル、ARIB STD-T66
データ転送速度 (規格値) * ²	IEEE802.11a/g : 54Mbps IEEE802.11b : 11Mbps IEEE802.11n : 300Mbps (2x) IEEE802.11ac : 433Mbps (1x)
変調方式	DS-SS 方式、OFDM 方式
伝送距離 (理論値) * ³	IEEE802.11a (54Mbps) : 12m、IEEE802.11b (11Mbps) : 40m、 IEEE802.11g (54Mbps) : 25m
セキュリティ * ⁴	IEEE802.11a/b/g : WEP、WPA、WPA2、IEEE802.1x 認証に対応 IEEE802.11ac/n : WPA (AES のみ)、WPA2 (AES のみ)、IEEE802.1x 認証に対応
使用無線 チャンネル	IEEE802.11ac/a/n : 36/40/44/48ch (W52)、52/56/60/64ch (W53)、100/104/ 108/112/116/120/124/128/132/136/140ch (W56) IEEE802.11b/g/n : 1 ~ 13ch

*¹ 本機には、電波法の規定により、工事設計認証を取得した無線設備を内蔵しています。

認証製品名 : RTL8821AENF

認証番号 : 201-135229


*² 無線 LAN 規格の理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。

*³ 屋内におけるアクセスポイントとの通信距離です。実際の距離は、電波環境、障害物、設置環境などの周囲条件や、アプリケーション、Windows などの使用条件によって短くなります。

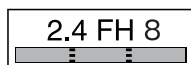
*⁴ IEEE802.1x について、Windows Server 2012 との IEEE802.1x Radius Server (EAP-TLS 対応認証サーバー) + WPA (TKIP) の組み合わせによる認証において動作を確認しています。すべての環境下での動作を保証するものではありません。

電波に関するご注意

本機には認証を取得した無線設備が内蔵されており、5GHz または 2.4GHz の周波数帯を使用します。

- 本機の無線設備は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局として技術基準適合証明を受けているため、本機を分解／改造しないでください。また、本機の無線設備は日本国内でのみ使用できます。
- 5GHz (W52、W53) の周波数帯は、電波法の規定により屋外では使用できません。
- 2.4GHz の周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と称す）が運用されています。
 - (1) 本機の無線設備をご使用になる前に、近くで「他の無線局」が使用されていないことを確認してください
 - (2) 万一、本機の無線設備と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所または使用無線チャンネルを変えるか、運用（電波の発射）を停止してください。
 - (3) 電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときには、『サポート・サービスのご案内』をご覧ください。テクニカルセンターまでお問い合わせください。

<Bluetooth>



変調方式として GFSK 方式を採用しており、与干渉距離は 80m です。
使用無線チャンネルは変更できません。

<無線LAN>



変調方式として DS-SS および OFDM 方式を採用しており、与干渉距離は 40m です。

センサー類について

本機には、3つのセンサー（ジャイロ、加速度、地磁気）が搭載されており、対応するアプリでセンサーを利用できます。各センサーの出力は、ご使用の環境や使用状況により誤差が生じますので、あくまで目安としてご使用ください。

ご使用中のディスプレイモードや本機の持ち方、使用するアプリなどによってはセンサーの認識する方向が実際と異なることがあります。

地磁気センサーに関する制限事項

本機は次のような場所では正常に動作しない場合があります。ご注意ください。

（内蔵の地磁気センサーが地磁気を検知して動作するため）

- 磁場環境が悪い場所
- 鉄筋のビルや鉄橋など鉄製建造物の内部・周辺
- 自動車や電車の内部・周辺、電車の架線の周辺
- 地上に置かれたトランス、高圧電線の付近
- 金属を含む家具や道具の付近
- 磁石やスピーカーなど強い磁力を帯びた物体の周辺
- ACアダプターや周辺機器の近く

地磁気センサーの示す方位がずれてしまった場合は、電源が入った状態で本機を次のように動かしてください。

- ① 本機のLCD画面が、地面に対して水平になるように持ちます。
- ② そのまま水平を保ちながら90度以上回転させます。
- ③ 本機のLCD画面が地面に対し垂直になるまで90度以上回転させます。

MEMO

MEMO

使用限定について

本製品は、OA 機器として使用されることを目的に開発・製造されたものです。

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全性維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮頂いた上で本製品をご使用ください。

本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、生命維持に関わる医療機器、24 時間稼働システムなど極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用は意図しておりませんので、これらの用途にはご使用にならないでください。

本製品を日本国外へ持ち出す場合のご注意

本製品は日本国内でご使用いただくことを前提に製造・販売しております。したがって、本製品の修理・保守サービスおよび不具合などの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないこともあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがあります。当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

電波障害について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

瞬時電圧低下について

本装置は、社団法人 日本電子工業振興協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインを満足しております。しかし、ガイドラインの基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。

有寿命部品について

当社のコンピューターには、有寿命部品（液晶ディスプレイ、AC アダプターなど）が含まれています。有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や条件により異なりますが、本製品を通常使用した場合、1 日約 8 時間、1 ヶ月で 25 日間のご使用で約 5 年です。

上記目安はあくまで目安であって、故障しないことや無料修理をお約束するものではありません。

なお、長時間連続使用など、ご使用状態によっては早期にあるいは製品の保証期間内であっても、部品交換（有料）が必要となります。

* LCD 画面を最大輝度で常時使用した場合の寿命は、10000 時間です。

JIS C 61000-3-2 適合品

本製品は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しております。

電源の入力波形は、正弦波のみをサポートしています。

レーザー製品安全基準

<レーザーマウス添付の場合>

本機に添付されているレーザーマウスは、レーザー製品の安全基準（JIS C 6802、IEC60825-1）に準拠したクラス 1 レーザー製品です。

著作権保護法について

あなたがビデオなどで録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用することはできません。

テレビ・ラジオ・インターネット放送や市販のCD・DVD・ビデオなどで取得できる映像や音声は、著作物として著作権法により保護されています。個人で楽しむ場合に限り、これらに含まれる映像や音声を録画または録音することができますが、他人の著作物を収録した複製物を譲渡したり、他人の著作物をインターネットのホームページなどに掲載（改編して掲載する場合も含む）するなど、私的範囲を超えて配布・配信する場合は、事前に著作権者（放送事業者や実演家などの隣接権者を含む）の許諾を得る必要があります。著作権者に無断でこれらの行為を行うと著作権法に違反します。

また、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

パソコン回収について



当社では、不要になったパソコンの回収・再資源化を行っています。

PCリサイクルマーク付きの当社製パソコンおよびディスプレイは、ご家庭から廃棄する場合、無償で回収・再資源化いたします。

パソコン回収の詳細は下記ホームページをご覧ください。

<http://shop.epson.jp/guide/recycle/>

ご注意

1. 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
2. 本書の内容および製品の仕様について、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容は万全を期して作成いたしました。万が一誤り・お気付きの点がございましたら、ご連絡ください。よろしくお願いいたします。
4. 運用した結果の影響につきましては、3項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

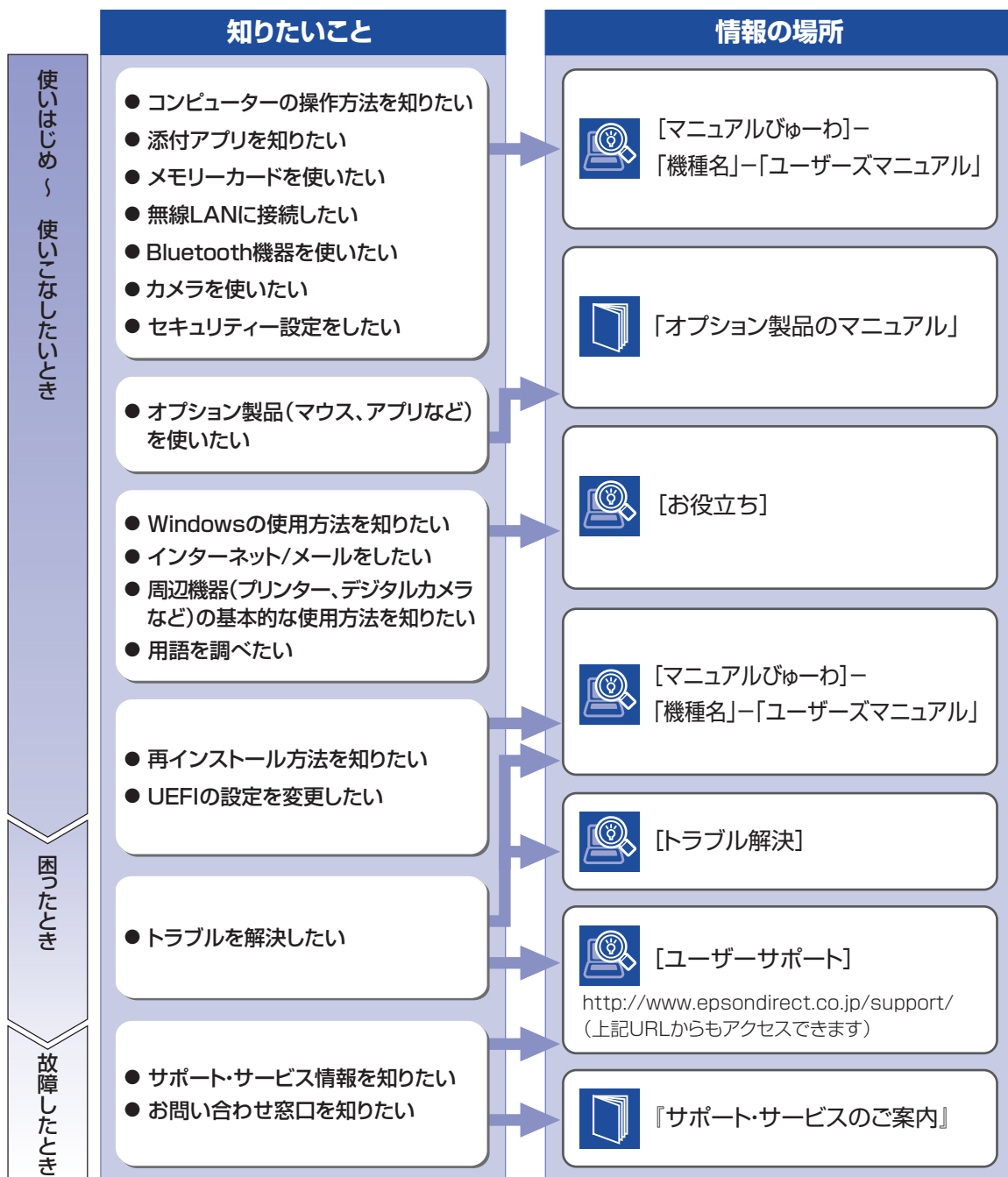
商標について

- Microsoft、Windows、Internet Explorer、Hotmail、MSN、Outlook は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Intel、インテル、Intel ロゴは、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。
- ウイルスバスター、およびウイルスバスタークラウドは、トレンドマイクロ株式会社の登録商標です。
- Adobe、Adobe ロゴ、Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
- microSD、microSDHC および SDXC は SD-3C, LLC の商標です。
- HDMI、HDMI ロゴ、High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。
- Bluetooth は、Bluetooth SIG, Inc. の登録商標です。

そのほかの社名、製品名は、一般にそれぞれの会社の商標または登録商標です。

情報マップ (知りたい情報はどこにある?)

本機に関する情報は、次の場所で見ることができます。



PCお役立ちナビ  p.36

コンピューターの画面で見る電子の情報です。



紙マニュアル

紙で添付されている情報です。